

# 島谷ひろのり

## しまや 議会レポート



プロフィール

- 出身：青森県八戸市
- 生年月日：昭和 55 年 2 月 13 日
- 学歴：八戸工業高等専門学校（電気工学科）卒業
- 家族：妻と長女・次女の 4 人家族
- 現住所：日野市旭が丘 2 丁目
- 趣味：バレーボール、ランニング、山登り

### みんなの想いを力に変えて確かな未来を創る!!

令和5年第3回日野市議会定例会が9月1日から27日まで開催され、市長より提出された議案、また、原油価格・物価高騰に対応する支援策、そして令和4年度一般会計及び特別会計決算特別委員会など、活発な議論が交わされました。

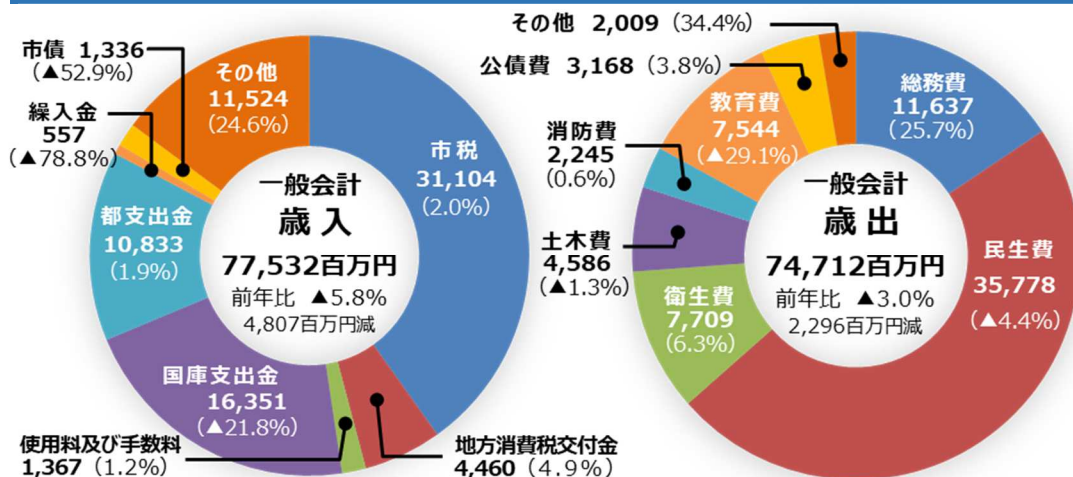
上程された議案については賛成多数で可決しております。

本定例会での審議事項や、一般質問で『島谷ひろのり』がピックアップした内容、トピックスも含め、以下、主な内容をご報告させていただきます。

■ 令和5年第3回定例会 議案等審議結果についての詳細は日野市議会HPへ  
<https://www.city.hino.lg.jp/shigikai/gian/1024685.html> 日野市HP ページID 1024685



## I. 令和4年度日野市一般会計決算及び特別会計決算について



■日野市特別会計予算 単位：百万円

事業名	決算額 (歳出)	内、一般会計からの繰入金
国民健康保険	16,572 (3.7)	2,220 (21.2)
土地区画整理事業	2,202 (▲16.8)	1,300 (0.0)
介護保険	15,151 (2.3)	2,249 (0.2)
後期高齢者医療	4,968 (8.0)	2,196 (11.0)
市立病院事業	9,798 (4.1)	950 (▲7.8)
下水道事業	5,649 (▲8.3)	1,246 (▲10.9)

注 ( ) 内前年度増減率

歳入、歳出ともに新型コロナウイルス感染症対策、及びエネルギー・物価高騰対策による国や東京都からの補助金額の関係で、コロナ禍の前年度と同程度の決算値となりました。

## II. 令和5年10月より、0歳から18歳の年度末までのすべての子どもの医療費を無償化しました。

令和5年10月より、義務教育就学児及び高校生等医療費助成の所得制限、通院1回上限200円の一部負担金を撤廃しました。

この制度拡充により、日野市に住民登録のある0歳から18歳の年度末までのすべての子どもが医療費助成の対象となります。現在医療証をお持ちでない方は、令和5年10月からの医療証について、事前申請が必要です。10月1日以降に申請の場合は、受付日からの資格となり、遡って助成することができません。

【現在医療証をお持ちの方】

申請等は不要です。9月14日(木曜日)に10月からの医療証を送付しました。

【現在医療証をお持ちでない方】

医療証の交付には申請が必要です。医療費助成の資格は原則受付日からとなりますので、お早めにご申請ください。



問い合わせ先 日野市子ども部 子育て課 助成係(手当・医療証等) 042-514-8598

■ 子ども医療費助成制度についての詳細は日野市HPへ  
<https://www.city.hino.lg.jp/kosodate/kenko/josei/1003939.html> 日野市HP ページID 1003939



### Ⅲ. 島谷ひろのり一般質問（概要）

#### 〔1〕 新たな自治会支援策について、市のねらいを問う



□質問主旨 新たな自治会支援の方向性として、日野市より概ね4つの課題に分け、報告書として公表されております。

(1)加入促進 (2)地域・他団体との連携 (3)負担軽減 (4)補助金



■日野市「新しい自治会支援の検討について」の詳細は日野市HPへ <https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/shiminkatsudo/jichikai/1024299.html> ページID 1024299

しかしながら、具体的な方向性(案)として文章化されているのは、(4)補助金のみとなっており、これまで積み重ねてきた意見交換会での議論や現場のご意見が、多くの市民に伝わらないのでは？と考え、報告書に込められた市の「ねらい」について、見解を質しました。

●島谷ひろのり議員⇒ 日野市第一次ゴミ改革や地震、台風対応など長期的な時代の変遷も含め、自治会の意義・役割の変化について、市の見解を確認すると共に、あらたな自治会支援の「ねらい」を問う。

◆日野市 自治会の加入率は、昭和52年には約85%あったが、徐々に低下し、現在は約40%。人々のライフスタイルや価値観の多様化が進む中で、生活する上で必須の団体という自治会の意義が、徐々に薄れていったしまった。しかし、自治会が行う地域の防災や防犯活動、美化活動、親睦活動など、加入率が低下している現在でも、自治会活動の意義や必要性は薄れていないと認識している。

市では、効果的な自治会支援策を検討するにあたり、令和5年1月から3月にかけて全7回、自治会との意見交換会を実施。その中で課題として出されたご意見として、地域協働課の地区担当職員を知らないという意見も出たことから、地域協働課から積極的に発信し、顔の見える関係づくり、気軽に相談できる体制づくりを進めていく。

●島谷ひろのり議員⇒ 「地域協働課職員の顔が分からない。」という状況は、今後の自治会支援の効果に大きく左右する。ここは、日野市として早急に歯止めをかけなければいけない。本来の「地域協働」のスタイルを取り戻すためにも、市側自身が改善すべき問題に対して、積極的に立て直しを図っていく姿勢が伝わる修正(案)に期待する。

#### 〔2〕 市民生活の動線から、マイナンバーカードを考える

□質問主旨 任意の取得であるマイナンバーカード。今後の健康保険証との一体化を見据えると、カード紛失時の対応など、市の窓口としてこれまで以上に丁寧かつ分かりやすい対応なるべく、組織として意識を変えていかなければ、市民の不安に寄り添えない。市の準備状況や、今後の課題認識を質しました。

●島谷ひろのり議員⇒ マイナンバーカードを取得していればコンビニで発行できる「印鑑証明書」が、市の窓口で発行できないという矛盾が生じているが、市の見解は？また、カード紛失時の市の役割についての認識を問う。

◆日野市 住民票や戸籍、課税証明等の証明書はマイナンバーカードや運転免許書等で本人確認（あるいは委任状）ができれば発行できるが、印鑑証明についての現状は、印鑑登録時に発行する「印鑑登録証」の提示が必要な規則となっている。他自治体では、マイナンバーカードに印鑑登録証の機能を持たせ、窓口でマイナンバーカードの提示と暗証番号の入力を行うことで発行しているところもある。カード紛失時の相談窓口、体制強化の必要性も含め、デジタル化による市民の利便性を高める検討を、引き続き進める。

●島谷ひろのり議員⇒ カード紛失時など、再発行申請から本人が受け取るまで、市民の動線をイメージすることが重要。相談体制の充実に加え、窓口まで受け取りに来ない方への勧奨方法や、窓口まで取りに来られない市民への丁寧な対応も含め、市として果たすべき役割についてもアップデートを図っていただき、サービスの質向上を求める。

■一般質問の録画中継は日野市役所HPで視聴できます。  
<http://www.hino-city.stream.jfit.co.jp/>



市政や生活に対するお問合せはお気軽にご連絡ください。

#### 島谷ひろのり相談室

TEL:042-581-8509 FAX:042-585-6005

E-mail:shimaya-kouenkai@fujielectric.com

HPとフェイスブックより活動内容をご覧ください。

島谷ひろのり  
HP



お友達登録をお願いします!



豊田駅近く、富士電機東京工場東門より徒歩1分です。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

編集・発行：島谷ひろのり後援会

住所：東京都日野市富士町1番地 TEL:042-582-3005 FAX:042-581-0133